

「和」テーマに世界大会

山口に152の国・地域からスカウト 3万3838人

世界152の国と地域の14歳から17歳の青少年ら3万3838人が集い、7月28日から12日間、山口市を主会場に第23回世界スカウトジャンボリーが開かれた(写真)。本願寺派スカウト指導者会に所属する団からも、国内をはじめ、北米、南米開教区など多数参加し、12日間にわたりキャンプでの共同生活や、広島市の平和記念公園を訪れる「広島ピースプログラム」などのイベントで交流を深めた。ジャンボリーは4年に1度開かれ、日本での開催は1971年以来44年ぶり。

大会テーマは「和—スピリット・オブ・ユニティー」。国籍や人種、宗教、文化を超えて共存し、平和で調和のとれた世界をつくってほしいという願い。8月2日には、他宗教への理解を深めることを目的に「教宗派間交流宗教儀礼」が行われ、世界の仏教界を代表してボーイスカウト日本連盟特別顧問のご門主が英語でメッセージ(日本語訳を全文別掲)を述べられた。期間中、各教宗派の信仰奨励ゾーンには浄土真宗本願寺派のブースも設けられ、世界からの参加者に親鸞聖人のご生涯、浄土真宗のみ教え、本願寺などを紹介した。



本願寺派スカウト指導者会の土山和雅理事長は「世界ジャンボリーの中でご門主から尊いお言葉をいただき感謝無量。参加者それぞれが『和』の精神のもとで、世界中のスカウトとの連帯感を深める大会となった。スカウト運動の創始者ベーデン・パウエル『世界中に友達がいれば戦争は起きない』のところが具現化できた大会となった」と語っていた。

ジャンボリーに参加した南米、北米開教区のスカウトはそれぞれ、本山参拝を行った。

ご門主が平和願いメッセージ



本日は、第23回世界スカウトジャンボリーにおける宗教儀礼によるご参加ありがとうございました。

70年前の8月に、日本の広島と長崎に原子爆弾が投下され、そして、第2次世界大戦が終わりました。この戦争によって、世界各地で多くの方が亡くなりました。皆さんは、このジャンボリー期間中広島で、平和

について学ばれます。しかし戦争の悲惨さを学ぶだけでは、平和にはなりません。

第2次世界大戦が終わっても、世界各地で戦争やテロが起こっています。それだけではなく、他者を侮辱し、傷つけ、権利を奪い取るという、人の尊厳を傷つける行為は、世界各地でなくなることがありません。

私たちは、自分自身の信仰を大切にすると同時に、お互いの宗教を知り、尊重することによって、平和な社会の実現に向けて協力していくことができます。ジャンボリー期間中、各国からの派遣隊の方と交流を深めてください。そして、皆さんが今住んでいる場所へ帰られてからは、まず、皆さんと親しい人が平和に暮らせるように努力をしてください。努力しなければ、平和な社会を築くことはできません。一人ひとりが努力することによって、必ずそれが大きな力となります。

この宗教儀礼を、平和な社会を築く第一歩といたしましょう。

Welcome to the Inter-Religious Ceremony of the 23rd World Scout Jamboree Scout Mondial!

On this occasion, I would like you to recall that in August seventy years ago, atomic bombs were dropped on the cities of Hiroshima and Nagasaki, Japan. Sometime after that, World War II came to close. Because of that war, countless lives were lost throughout the world. This Jamboree provides you with various opportunities to learn about peace. However, learning about peace does not mean to merely learn how disastrous wars are.

Although World War II came to an end, armed conflicts and terrorist attacks have continued to take place throughout the world. Sadly enough, human rights violations such as insulting others or inflicting injuries on others and infringing upon other people's rights have also always been with us worldwide.

Cherishing our own faith while trying to deepen our knowledge and respect of other religions enables us to realize a peaceful society in which everyone can live in harmony.

For that purpose, I encourage you to associate with other participants during this event. And continue the movement even after returning home by making efforts so that your loved ones are able to live peacefully. Without your efforts, a peaceful society will never be realized. Your individual efforts will surely come together to form a great movement.

Let us make this Inter-Religious Ceremony the first step forward on the way to building a peaceful society.